

令和7年度 冬の総合審査所感

12月20日(土)・21日(日)の2日間にわたり、浦安市中央武道館にて冬の総合審査が開催されました。今回は少年初段から一般有段まで、48名が受験し、龍本部・浦安支部を中心に、各地域の団体が一堂に会しました。大阪やアラスカからの受験者もいました。

受験された方達は日頃の努力の成果を存分に発揮し、気合のこもった技と姿勢で真剣に取り組む姿が印象的でした。団体ごとにそれぞれの特色が見られましたが、共通して感じられたのは、継続的な稽古による確かな成長です。少年初段から一般有段まで段階が上がるごとに基本動作の正確さと、集中力の高さが加わり、技の切れや重厚さに成熟が見られました。

結果の如何に関わらず、今回の審査に関わった方達全員が今後も稽古を継続し、磨きをかけて行っていただきたいと思います。各団体の指導者の先生方におかれましても、より一層の基礎・指導方法の見直し・改善により、龍合気道の技と精神性が団体ごとに定着し、今後もさらに飛躍していただきたいと思います。

蒼龍 代表
三橋 亮